

佐賀市大隈記念館は総理大臣までなった政治家、大隈重信にまつわる歴史資料を展示している資料館です。敷地内には大隈重信の旧宅(生家)もあり、大隈侯の青少年期をうかがいすることができます。

今回、大隈記念館をより広く知ってもらおうと大隈記念館便りとして広報誌を発行することになりました。記念館の現況や今後の予定、大隈重信にまつわる資料・エピソードなどを紹介し、より身近に感じていただきたいと思います。

古賀館長より



今年の4月に就任しました新人館長の古賀雄三です。大隈重信侯はじめ、他の賢人、偉人について猛勉強中です。佐賀市民でありながら、あまりにも身近で、ついつい見逃してしまいそうな郷土の偉人、一度訪ねてみませんか？いつでも、何名でも気軽に声をかけてください。一緒に案内させていただきます。お一人でも多くの佐賀市民の来館をお待ちしています

夏はいろいろなことがありました

デジタル歴史館の設置

早稲田大学が創立125周年を記念して製作した「デジタル歴史館」が当館でも見るできるようになりました。これは早稲田大学の歴史を伝える文献、写真、映像などの貴重な資料を動画として編集し、web上で公開するシステムです。

これを見ることで、早稲田大学の歴史だけでなく、創立者大隈重信の生き様もわかるようになっていきます。ぜひご覧ください。



子ども出前講座、大隈重信スピーチコンテストの開催！

早稲田大学教育総合科学学術院と佐賀市教育委員会が連携してすすめている早稲田・佐賀21世紀子どもプロジェクトの一環として、中学生を対象に8月に「子ども出前講座」、10月に「大隈重信スピーチコンテスト」が開催されました。これは今年で3回目。出前講座では20名程が参加し、大隈重信の生き方として講演したほか、記念館と生家を見学し、大隈侯のことをより深く知ってもらいました。またスピーチコンテストでは、大隈重信に学ぶことをテーマに、40数名の応募の中から一次審査を通過した10名の生徒さんが発表しました。それぞれ自分の考えを踏まえながら大隈重信について考察し、将来についての抱負も述べていました。



職場体験にやってきました

この夏休みに中学生(昭栄中、城北中、城南中)が記念館に職場体験にやってきました。ほとんどの生徒が初めて記念館に来たということでした。新しく入ったデジタル歴史館などを使用して大隈さんを学んだほか、展示資料の並び替えを体験してもらいました。どのようにしたら見やすいのか、垂直、水平ラインを保つのに苦労していました。



早稲田大学大学院の講義が行われています



佐賀市と早稲田大学大隈記念大学院が協働連携に関する基本協定書を締結し、その事業の一環として、大隈侯生誕地にある当館において、早稲田大学大隈記念大学院公共経営研究科佐賀地域人材育成プログラムが開講されました。10月から12月まで、土日で講座が開かれています。大学院の教員が直接来て講義をするほか、大学本体とネットをつないで、テレビカメラを使って中継して講義をするなど、最先端の技術も駆使して行われています。

ボランティアグループまきの会 活躍中!

大隈記念館には「まきの会」というボランティアグループがあります。生家一般公開の時は生家のご案内をしたり、また子どもたちに向けて紙芝居をしたり、記念館のお手伝いをしています。また月2回勉強会を開いて、大隈侯だけでなく佐賀の歴史も勉強しています。

〈吉武会長より〉

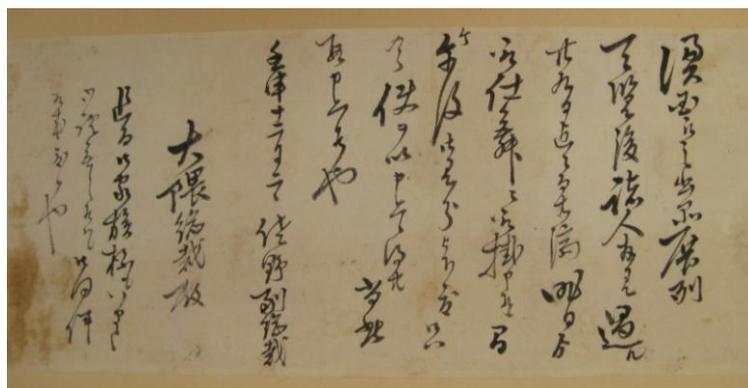
24名の会員でがんばっています。バルーン開催の時は紙芝居などを通し、大隈侯のすばらしさを紹介しています。佐賀の歴史を学びませんか？



収蔵資料の紹介

「佐野常民書翰 大隈重信宛」

当館には大隈侯宛の書翰が収蔵されています。今回はその中から、佐野常民書翰を紹介します。佐野常民は佐賀早津江出身で日本赤十字社を創設した人物でもあります。この資料は「オーストリア万国博覧会に日本から出品する品々を事前に展示しているのでぜひご覧になってください」という内容の書翰です。このオーストリアのウィーンで開かれた万国博覧会には日本が初めて公式参加し、大隈侯は総裁、佐野常民は副総裁として関わっていました。



なお、この書翰は来年の元旦から佐賀県立美術館で開催される佐賀城本丸歴史館開館5周年記念特別展「近代との遭遇—世界を見る・日本を創る—」に出展されることになっています。また、記念館でもその後、展示する計画です。

記念館よりお知らせ

大隈重信侯 89 回忌法要のご案内

大隈重信侯 89 回忌法要を、大隈侯の命日である来年の1月10日(日)11時より行います。場所は、大隈家菩提寺である龍泰寺です。

記念館雨漏り修理工事

12月より、記念館の天井の漏水工事を行います。2月上旬までの予定です。工事期間中は記念館内の見学はできず、生家のみのお見学となります。工事期間中は入館料無料といたします。また、生家も内部を公開いたします。

